

2026 年 10 月 2 日

公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団

## 第 32 回コカ・コーラ環境教育賞 最終選考に進む全 18 団体を決定

～最終選考結果は 10 月 17 日(土)にライブ配信～

公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団(所在地:東京都渋谷区、理事長:井辻 秀剛、以下当財団)は、環境の保全、啓発、美化および環境教育に関する顕著な活動を顕彰する「第 32 回コカ・コーラ環境教育賞」(以下、本賞)の最終選考へ進む全 18 団体を選出いたしました。

第 32 回 コカ・コーラ環境教育賞 最終選考ノミネート団体: 18 団体 (北から順)

活動普及部門: 11 団体

＜小学生: 5 団体＞

- 石巻市立大谷地小学校 (宮城県石巻市)
- 伊奈町立小針北小学校 (埼玉県北足立郡)
- 特定非営利活動法人 Earth Communication (静岡県御前崎市)
- 福井県大野市上庄小学校 (福井県大野市)
- 西表ヤマネコクラブ (沖縄県八重山郡)

＜中学生: 6 団体＞

- 学校法人 登別立正学園プログラミング教室「のぼプロ」(北海道登別市)
- 渋谷区立笹塚中学校チャレンジクラス (東京都渋谷区)
- 白鳥 心華 (静岡県富士宮市)
- 長野県立科町立立科中学校生徒会 (長野県北佐久郡)
- 姫路市立安富中学校 (兵庫県姫路市)
- 石垣市立石垣中学校 生徒会執行部 (沖縄県石垣市)

企画・研究推進部門: 7 団体

- 埼玉県立杉戸農業高等学校 (埼玉県北葛飾郡)
- 奈良県立磯城野高等学校 Flowers & Seeds (奈良県磯城郡)
- 奈良県立五條高等学校 (奈良県五條市)
- SFキーパーズ (SeaとForestの守り人) (愛媛県今治市)
- 長崎県立長崎南高等学校科学部 (長崎県長崎市)
- 熊本県立菊池農業高校 竹資源研究班 (熊本県菊池市)
- 熊本県立南稜高等学校総合農業科環境コース (熊本県球磨郡)

最終選考および表彰式は、10月17日(土曜日)、オンライン形式にて開催いたします。同日午前にプレゼンテーションによる最終選考をおこない、本年度各受賞団体を決定し、午後受賞団体の発表をおこないます。

発表の様子は、当財団ホームページ内特設ページにて、ライブ配信をおこないます。

表彰式： 10月17日(土曜日) 14:45 (※開始予定時刻。15分程度前後する場合があります。)

ライブ配信リンク： <https://www.cocacola-zaidan.jp/environment/env-prize/32nd/>

また、受賞団体、個人を対象に、北海道夕張郡のコカ・コーラ環境ハウスに於いて、全国各地の受賞団体が一同に会して交流を深め、自然を学ぶ体験学習会(2027年1月9日～11日)を実施します。

本賞は1994年の設立以来、環境教育・環境保全活動の促進を目的に、地域に貢献するボランティア活動の助成・支援をおこなっており、これまでの応募団体数は、全国で2,400以上に上ります。

## ■ 第32回コカ・コーラ環境教育賞 概要

|                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                     |           |           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------|
| 名称                                                                                                                                                                                  | 第 32 回コカ・コーラ環境教育賞                                                                                                                                                                                                                   |           |           |
| 主催                                                                                                                                                                                  | 公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団                                                                                                                                                                                                                 |           |           |
| 協力                                                                                                                                                                                  | 読売新聞社                                                                                                                                                                                                                               |           |           |
| 後援                                                                                                                                                                                  | 文部科学省、環境省 ほか                                                                                                                                                                                                                        |           |           |
| 部門・<br>テーマ                                                                                                                                                                          | <p>【活動普及部門】<br/>対象:①小学生およびその指導者 ②中学生およびその指導者<br/>募集テーマ: <u>つかう責任</u><br/>SDGs 12 の「つかう責任」に関する活動、取り組み</p> <p>【企画・研究推進部門】<br/>対象:高校生、高専生、大学生、大学院生およびそれら学生を活動主体とする非営利団体<br/>募集テーマ: <u>容器、水、気候変動</u><br/>容器、水、気候変動に着目した環境に関する取組み、研究</p> |           |           |
| 表彰                                                                                                                                                                                  | 「活動普及部門（小学生）」                                                                                                                                                                                                                       |           |           |
|                                                                                                                                                                                     | 文部科学大臣賞、環境大臣賞、財団賞のいずれか                                                                                                                                                                                                              | 1 組       | 助成金 30 万円 |
|                                                                                                                                                                                     | 優秀賞                                                                                                                                                                                                                                 | 2 組（註 1）  | 助成金 10 万円 |
|                                                                                                                                                                                     | 「活動普及部門（中学生）」                                                                                                                                                                                                                       |           |           |
|                                                                                                                                                                                     | 文部科学大臣賞、環境大臣賞、財団賞のいずれか                                                                                                                                                                                                              | 1 組       | 助成金 30 万円 |
|                                                                                                                                                                                     | 優秀賞                                                                                                                                                                                                                                 | 2 組（註 1）  | 助成金 10 万円 |
|                                                                                                                                                                                     | 「企画・研究推進部門」（高校生以上）                                                                                                                                                                                                                  |           |           |
| 文部科学大臣賞、環境大臣賞、財団賞のいずれか                                                                                                                                                              | 1 組                                                                                                                                                                                                                                 | 助成金 50 万円 |           |
| 優秀賞                                                                                                                                                                                 | 3 組（註 1）                                                                                                                                                                                                                            | 助成金 10 万円 |           |
| <p>註 1）授賞数は応募総数や応募内容に応じて最終的に決定します。該当する団体がないと判断した場合は「授賞なし」とする場合があります。</p> <p>註 2）活動普及部門 小学生、同部門 中学生、企画・研究推進部門（高校生以上）の 3 つの区分で、それぞれ最も優秀と認められた団体に、文部科学大臣賞、環境大臣賞、財団賞のいずれかを授賞する予定です。</p> |                                                                                                                                                                                                                                     |           |           |

## 第 32 回コカ・コーラ環境教育賞 最終選考ノミネート団体 概要

### ■活動普及部門(小学生)

#### ●石巻市立大谷地小学校（宮城県石巻市）

本活動は、「詰替パック」の回収・再活用を通じて資源循環と地域交流の創出を目指す取組である。児童による回収箱製作や情報発信から始まり、毎年10月には学区内にある道の駅「上品の郷」を会場としてイベントを開催し、学びを発信している。地域を巻き込んだ取組は、多くの発表の機会を得て認知度が高まっている。

#### ●伊奈町立小針北小学校（埼玉県北足立郡）

町の花バラの栽培を通じ、児童主体でSDGs「つかう責任」に挑む自己財源型の環境循環プロジェクト。地域の廃棄物（雑草、馬糞、米糠、落ち葉）を活用した3,000Lの堆肥や、微生物の力でバラの病気を防ぐ無農薬栽培、ハーバリウム等のバラのアップサイクル販売により、持続可能な循環経済と地域連携を体現している。

#### ●特定非営利活動法人Earth Communication（静岡県御前崎市）

地域・社会・地球の未来を担う人材の育成を目指し、海岸やアマモ場、里山の保全活動、地域の自然資源を活用した環境教育活動、地域の自然や環境を維持・保全し続けるための仕組みづくりや環境と教育の両立を図るための基盤構築などに取り組む。

#### ●福井県大野市上庄小学校（福井県大野市）

本校では、シマミズミの力で生ごみを堆肥に変える「ミズごみコンポスト」と、約8,000本のひまわりを育てる「上庄ニコニコひまわりプロジェクト」の2つを柱にSDGsの達成を目指す活動に取り組んでいます。CO2の排出量削減を目的とするだけでなく、命や資源の循環を学び、自然とのつながりや地域とのつながりを大切にしながら、持続可能な地域づくりを目指しています。

#### ●西表ヤマネコクラブ（沖縄県八重山郡）

西表島を拠点に4月に年間計画を立て、6月の水質調査、7月のサバイバルキャンプ、8月に浦内川等の遊歩道の観察、12月のホタル観察、6月・12月のソラダス調査、年3回のビーチクリーン活動を通して自然や環境問題などと向き合い、調査した情報を毎年壁新聞にしながらメッセージを発信しています。その他、自然観察、ものづくりや学校や地域の文化祭等への出展、町やその他からオファーがあれば、要望に沿って活動内容や調査した内容を発表し、メッセージを発信することで、環境活動の改善につながるよう働きかけを行っています。

### ■活動普及部門(中学生)

#### ●学校法人 登別立正学園プログラミング教室「のぼプロ」（北海道登別市）

プログラミング教室のリトルリーダーコースのレッスンと活動内容の一環として、地域に密着したごみ処理の知識や環境保全の取り組みを学習できるツールの開発と公共施設（観光交流センターヌプル・鷲別コミュニティセンター・登別中央ショッピングセンター アーニス・クリンクルセンター）での作品紹介パネル・動画の展示などを行なっています。

● 渋谷区立笹塚中学校チャレンジクラス（東京都渋谷区）

渋谷区立笹塚中学校チャレンジクラス（不登校対応校内分教室）で、校庭（57㎡）にて超節水型乾田直播栽培（DDSR）による稲作に取り組む。廃棄物由来の資材「楪」やビール酵母資材で土づくりを行い、天然由来の保水剤で節水も実践。地域との連携を通じて斉藤農園での伝統農法との比較を通じ、持続可能な農業への理解と生徒の自己効力感向上を目指す。

● 白鳥 心華（静岡県富士宮市）

富士宮市の地元特産魚であるニジマスに着目し、残渣や油の有効活用について研究を続けている。ニジマス油を原料に、環境に優しい100%天然由来の界面活性剤「ソホロリピッド」を自作し、水槽・農業実験で無害性を確認。洗浄力の検証を経て、今後は、地域資源を生かした環境に優しい素材としての可能性を探究している。

● 長野県立科町立立科中学校生徒会（長野県北佐久郡）

「SEE THE SEA」という活動で、子どもだけのプラゴミレンジャーをつくり、ゴミ拾いをしたり、T シャツやプラごみを使ったチャリティーグッズを作って販売し、売上を寄付したりなどの活動をしています。「つかう責任」を楽しく学べるように、工夫をこらした活動です。

● 姫路市立安富中学校（宮崎県都城市）

シカの食害で壊滅した町花アジサイを、生徒が核となり復活させるプロジェクト。学校・地域・企業等による「5者共創」体制で、海洋残滓由来の堆肥活用や開花後のアジサイの活用など、「山と海を繋ぐ資源循環」を実践。活動は大阪・関西万博でも発信され、地域課題を「つかう責任」の学びへ繋げるESDの先進モデル。

● 石垣市立石垣中学校 生徒会執行部（沖縄県石垣市）

石垣島で大量廃棄されるホテルリネンに着目し、廃棄リネン・野菜くず・ペットボトルキャップを組み合わせ、沖縄の正装「かりゆしウェア」へ再生する活動を実施しました。生徒主体で素材回収から草木染め・縫製・ボタン作りまで完遂。展示発表を通じて、地域へ身近な資源循環と「つかう責任」の大切さを発信しています。

■ 企画・研究推進部門

● 埼玉県立杉戸農業高等学校（埼玉県北葛飾郡）

食品化学の理論を用いた加熱ボイルと冷水洗浄により、大豆ミートの青臭さを克服する独自レシピを開発。学校給食への導入や地域での環境教育、即売会での完売を達成しました。さらにCO2削減量や節水効果を数値で実証し、消費者の「行動変容」を促す持続可能な食生活の実装と普及に取り組んでいます。

● 奈良県立磯城野高等学校 Flowers & Seeds（奈良県磯城郡）

水稻を食害するジャンボタニシに対し、梅酒漬梅や段ボールを活用した防除技術を開発。梅投入でも貝が増殖しないこと（生息密度21頭/㎡で同等）を証明し、「餌をやり増やしている」という批判を乗り越え被害回避を優先しやり遂げた。段ボール工場の端材活用やカラス捕食のカメラ検証（試行中）を通じ持続的普及を目指す。

●奈良県立五條高等学校(奈良県五條市)

衣類廃棄問題の解決をめざし、思い出の服のリメイク、不要衣類の回収・交換、残った衣類を活用した防災クッションの開発という三段階衣類循環モデル「FUKU-FUKU LOOP」を実践。行政・企業・福祉事業所等と連携し、当初9.3%だった循環率を90.1%まで高め、地域で衣類を最後まで生かす仕組みを構築している。

●SFキーパーズ(SeaとForestの守り人)(愛媛県今治市)

学校のある今治市桜井地域の歴史的景観“桜井海岸の白砂青松”において大量発生する廃棄松葉の用途開発・農業用資材としての用途「脱プラ(マルチングシート)効果・(有機)肥料効果・散水作業軽減効果」の研究、および農業用資材「松葉ペレット」のPR・販売や、「松葉ペレット」が持つ環境啓発・探究素材としての効果に着目した、小学生への無償提供、松林の清掃活動

●長崎県立長崎南高等学校科学部(長崎県長崎市)

本活動班は毎週の科学部として活動のほか、SSH指定校である本校の授業の一環で週に2時間程度活動をしている。代表者は毎日のようにペットボトルに入った炭酸飲料を飲んでいる。このことをきっかけに、環境問題と大好きな炭酸飲料を掛け合わせた研究をリケジョメンバーで楽しく行っている。

●熊本県立菊池農業高校 竹資源研究班(熊本県菊池市)

熊本県立菊池農業高校竹資源研究班は、地域の課題である「放置竹林」をバイオマス資源として有効活用し、脱炭素社会の実現に挑んでいます。産学官連携のもと、竹チップでの生ゴミ堆肥化、バイオ竹炭による農地への炭素貯留、国産メンマ製造とピザ開発によるフードマイレージ削減の「3つの挑戦」を実践しています。

●熊本県立南陵高等学校総合農業科環境コース(熊本県球磨郡)

令和2年熊本豪雨災害後、熊本県が推奨する「緑の流域治水」に取り組んでいる。現在は、森林の保水力調査から水源涵養機能の数的な証明を行い、リーキーダム(漏水型ダム)による治水を行っている。またブナ林の南限域である地元の白髪岳のブナ林の巨木が20年以上前から枯死していることについて、シカによる食害が大地の乾燥化を招いていることを調査研究により明らかにした。緑の流域治水の実現のために、「木育活動」「防災減災の森づくり活動」「鳥獣被害対策(ジビエ料理の開発)」を継続実施し、普及啓発に努めている。



## ■ 日本のコカ・コーラシステム サステナビリティ

原液の供給と製品の企画開発やマーケティング活動を行う日本コカ・コーラ株式会社と、製品の製造・販売などを担う5つのボトラー会社および関連会社を日本の「コカ・コーラシステム」と呼んでいます。  
サステナビリティは、私たちの事業のあらゆる側面に取り入れられており、未来の成長に欠かせない要素といえます。これらの取り組みを通じて、コカ・コーラの使命である『Refresh the World. Make a Difference. (世界中にさわやかさを提供し、前向きな変化をもたらすこと)』の実現を目指しています。

日本コカ・コーラ サステナビリティ公式サイト: <https://www.cocacola.co.jp/sustainability>

## ■ 公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団

名 称: 公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団  
英字名称: The Coca-Cola Educational & Environmental Foundation  
許可日: 2007年6月25日(※2011年9月27日 公益財団法人へ移行)  
理事長: 井辻 秀剛  
所在地: 東京都渋谷区 渋谷4-6-3  
公式サイト: <https://www.cocacola-zaidan.jp/index.html>  
概要: 2007年6月に37年継続していた日本コカ・コーラボトラーズ育英会と14年継続していたコカ・コーラ環境教育財団の事業を継承し、一元的に運営、推進できる母体として設立、2011年9月より公益財団法人に移行しました。心豊かでたくましい人づくり(Healthy Active Life)を理念とし、国際社会が求める青少年の育成と、彼らを取り巻く地域社会を支える人材の育成を通じ、豊かな国際社会の形成及び国際親善に寄与することを目的とし、内閣府に公益認定を受け、事業を展開しています。  
主な事業内容: 環境教育、奨学支援、災害復旧・復興支援を柱とした各種社会貢献事業



#### ■ 雨煙別(うえんべつ)小学校 コカ・コーラ環境ハウス

北海道夕張郡栗山町の歴史ある廃校を宿泊可能な施設として再生した「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」は、体験型の環境教育プログラムの拠点であり、特定非営利活動法人 雨煙別学校が、自然体験学習を中心とした教育活動を実施しています。2010 年のグランドオープン以来、小学校の宿泊学習をはじめ、大学生の実習やスポーツ合宿、企業研修等、多くの人に利用されています。

公式サイト: <http://uenbetsu.jp/>

